

# 三井住友グローバル債券 オープン

追加型投信／海外／債券

日経新聞掲載名：グロ債券

第34作成期 2023年3月14日から2023年9月12日まで

第199期 決算日  
2023年4月12日

第200期 決算日  
2023年5月12日

第201期 決算日  
2023年6月12日

第202期 決算日  
2023年7月12日

第203期 決算日  
2023年8月14日

第204期 決算日  
2023年9月12日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

## 当作成期の状況

基準価額(作成期末)	7,328円
純資産総額(作成期末)	9,477百万円
騰落率(当作成期)	+8.1%
分配金合計(当作成期)	90円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

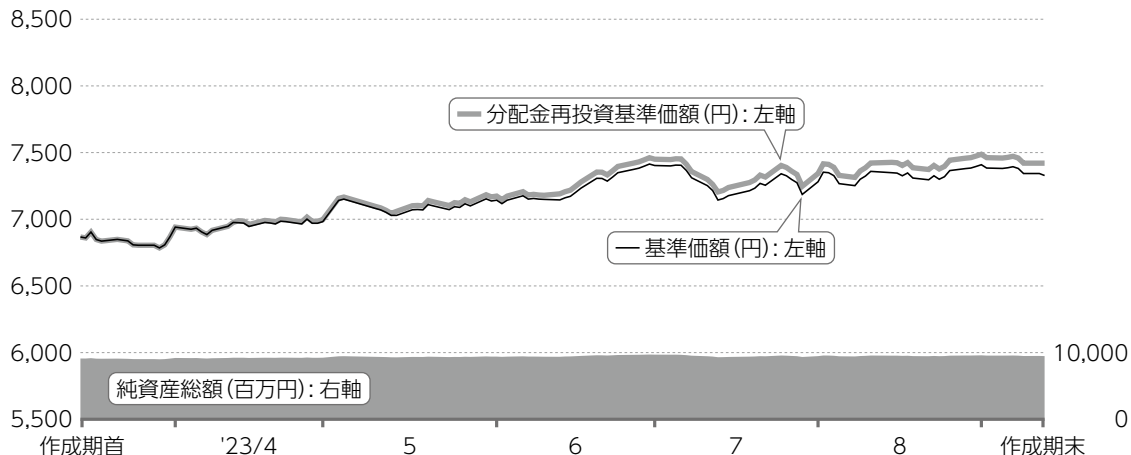
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2023年3月14日から2023年9月12日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	6,867円
作成期末	7,328円 (当作成期既払分配金90円(税引前))
騰落率	+8.1% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 基準価額の主な変動要因(2023年3月14日から2023年9月12日まで)

当ファンドは、「G I M世界投資適格債券ファンドF(適格機関投資家専用)」(主として先進国の債券に投資)および「G I M新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)」(主として新興国の債券に投資)に分散投資を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

なお、運用にあたっては、J Pモルガン・アセット・マネジメント株式会社より助言を受けています。

### 上昇要因

- 多くの投資通貨が対円で上昇したこと

### 下落要因

- 先進国の投資適格債券市場が下落したこと

## 1万口当たりの費用明細(2023年3月14日から2023年9月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信託報酬</b>	<b>31円</b>	<b>0.438%</b>	<b>信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)</b> 期中の平均基準価額は7,159円です。
(投信会社)	(7)	(0.093)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(24)	(0.330)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(d) その他費用</b>	<b>0</b>	<b>0.006</b>	<b>その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数</b>
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.006)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合計</b>	<b>32</b>	<b>0.444</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

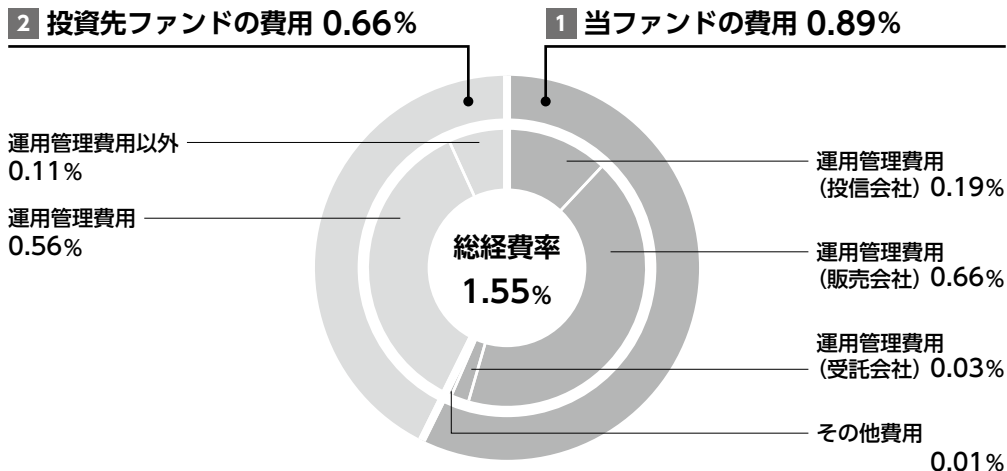
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



<b>総経費率(1 + 2)</b>	<b>1.55%</b>
<b>1 当ファンドの費用の比率</b>	<b>0.89%</b>
<b>2 投資先ファンドの運用管理費用の比率</b>	<b>0.56%</b>
<b>2 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率</b>	<b>0.11%</b>

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、「1万口当たりの費用明細」をもとに、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

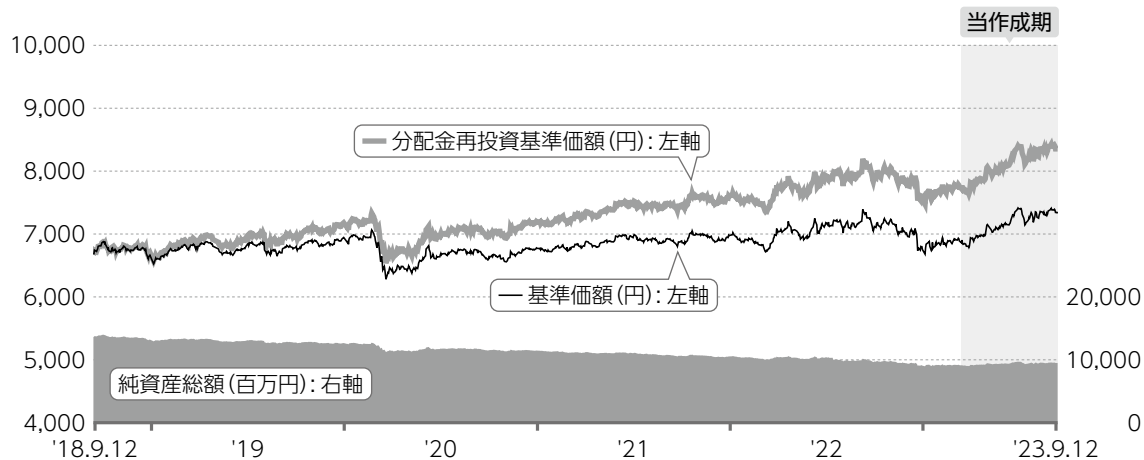
※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.55%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2018年9月12日から2023年9月12日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2018年9月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2018.9.12 決算日	2019.9.12 決算日	2020.9.14 決算日	2021.9.13 決算日	2022.9.12 決算日	2023.9.12 決算日
基準価額	(円)	6,676	6,792	6,720	6,890	7,314	7,328
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	180	180	180	180	180
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	4.5	1.6	5.3	8.9	2.8
純資産総額	(百万円)	13,635	12,814	11,720	10,700	10,068	9,477

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2023年3月14日から2023年9月12日まで)

先進国の投資適格債券市場は下落しました。一方、新興国現地通貨建て債券市場は上昇しました。為替市場において、米ドルおよびユーロは対円で上昇し、多くの新興国通貨も対円で上昇しました。

## 債券市場

米、独、英の10年国債利回りは前期末比で上昇(価格は下落)しました。期初から3月下旬は、米銀行を取り巻く金融不安の広まりを受けてリスク回避姿勢が強まったことに加え、F R B(米連邦準備制度理事会)の声明文で利上げに対する慎重な姿勢が見られたことなどを背景に、米国債利回りは低下しました。また、クレディ・スイスの経営危機報道による信用不安の高まりなどを背景に、欧州債券利回りも低下しました。4月以降は、米地方銀行の決算で大規模預金流出が判明したことやファースト・リパブリック銀行の破綻などを受けて利回りが低下する場面もあったものの、F R B高官の追加利上げを示唆する発言や米欧の堅調な経済指標、E C B(欧州中央銀行)やB O E(イングランド銀行、中央銀行)などの利上げ継続観測、格付け機関による米国債の格下げなどを背景に、期末にかけて利回りは概ね上昇基調を辿りました。

新興国債券市場は上昇しました。期初から7月中旬にかけては、米銀行を取り巻く

金融不安の広まりからリスク回避姿勢が強まったことや、F R Bの声明文で今後の利上げへの慎重さがうかがえる表現が見られたことなどから米国債利回りが低下した中、インフレ鈍化の兆しが見られたことや債務上限問題の進展なども支援材料となり、新興国債券市場は概ね上昇基調で推移しました。7月下旬から期末にかけては、先進国における経済のソフトランディング(軟着陸)期待の高まりや、新興国においても中央銀行が今後利下げに向かう余地が広がったとの期待などが支援材料となった一方で、中国における不動産市場を巡る懸念やマクロ経済の弱含みなどを背景に債券市場のボラティリティ(価格変動性)が高まった中、新興国債券市場はほぼ横ばいで推移しました。

## 為替市場

為替市場では、堅調な米経済指標の発表やF R B議長による追加利上げを示唆する発言のほか、E C BやB O Eにおける利上げの実施、日銀総裁が金融緩和の継続を示

したことなどを背景に、米ドル、ユーロとともに対円で上昇しました。

新興国通貨については、堅調な米経済指標の発表やF R B議長による追加利上げを

示唆する発言のほか、日銀総裁が金融緩和の継続を示したことなどが円安の要因となり、多くの新興国通貨が対円で上昇しました。

### ポートフォリオについて(2023年3月14日から2023年9月12日まで)

#### 当ファンド

「G I M世界投資適格債券ファンドF(適格機関投資家専用)」および「G I M新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)」に対する基本資産配分比率につきましては、先進国部分：新興国部分=69：31としていましたが、J P モルガン・アセット・マネジメントの助言に基づき、7月に先進国部分：新興国部分=70：30に変更しました。

#### G I M世界投資適格債券ファンドF (適格機関投資家専用)

##### ●デュレーション(投資資金の平均回収期間： 金利の変動による債券価格の感応度)

デュレーションについて、前期末から長期化しました。

##### ●国別配分

国別配分については、前期末比で中国、イギリスなどの投資比率が上昇した一方、

カナダ、イタリアなどの投資比率は低下しました。

##### ●格付け別配分

格付け別の投資比率について、前期末比でA A格付けなどの投資比率が上昇した一方、B B BやA A A格付けなどの投資比率が低下しました。

##### ●種別配分

種別配分については、前期末比で国債などの投資比率が上昇した一方、モーゲージ証券や社債などの投資比率が低下しました。

#### G I M新興国現地通貨ソブリン・ ファンドF(適格機関投資家専用)

##### ●国別配分

主な投資行動については、ペルーなどの投資比率を引き上げた一方、中国などの投資比率を引き下げました。また、ポーランドや韓国の銘柄を新規に組み入れました。



## ベンチマークとの差異について(2023年3月14日から2023年9月12日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 分配金について(2023年3月14日から2023年9月12日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期	第204期
当期分配金	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率)	(0.21%)	(0.21%)	(0.21%)	(0.21%)	(0.20%)	(0.20%)
当期の収益	15	15	15	13	15	13
当期の収益以外	－	－	－	1	－	1
翌期繰越分配対象額	205	206	209	208	220	219

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、「GIM世界投資適格債券ファンドF(適格機関投資家専用)」および「GIM新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)」に分散投資を行い、収益の向上とともに高利回りを目指して運用を行います。また、先進国部分および新興国部分に対するそれぞれへの投資割合は

70：30を基本資産配分比率とし、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の助言を受け、市場環境に応じて上下10%の範囲内で投資比率を変更しながら運用します。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないものとします。

## G I M世界投資適格債券ファンドF (適格機関投資家専用)

景気後退を目先3－6ヵ月のメインシナリオと据え置く一方で、過去数年にわたる景気刺激策を勘案すると、金融引き締め効果の発現には時間を要することから、同メインシナリオの発生確率を引き下げました。F R Bが利下げを開始する前には、コアインフレ率が2%程度に低下する一方で、失業率は4%程度まで上昇することが必要であると考えています。インフレ率がF R Bの目標まで低下するためには、景気後退は避けられないものとみていますが、そのタイミングは2024年以降に後ずれする可能性が高まっています。主なリスクは、金融引き締めの累積効果・時間差効果が発現する前に、F R Bが市場の想定以上に引き締めを行うことだと考えています。このような環境下、米国をはじめとする主要先進国に分散しながら、ポートフォリオ全体のデュレーションをオーバーウェイトとする方針です。また、セクター配分については、引き続き政府系モーゲージ証券を選好しています。

ポートフォリオの構築にあたっては、引き続きファンダメンタルズ(基礎的条件)分析に基づき、ボトムアップの手法により収益機会をとらえる運用を行ってまいります。

## G I M新興国現地通貨ソブリン・ ファンドF (適格機関投資家専用)

2023年7－9月期は、米国経済は引き続き鈍化し、年明け以降に景気後退入りするとみています。一連の景気減速局面は先進国と新興国の両方に影響を与えると見込まれますが、景気後退に対する新興国の耐性が下支えとなって、新興国と先進国の経済成長率の差は拡大すると考えています。一方で、米政策金利の最終到達点を取り巻く不確実性は高止まりしているものの、利上げサイクルは終盤に近く、金利のボラティリティは低下すると見込んでいます。また、新興国では先進国よりもインフレの鈍化が早く、今後中央銀行に利下げの余地が生じると見られることは、現地通貨建て新興国債券のサポート材料になると見ています。このような環境下、現地通貨建て債券については、実質利回り水準が高い国を中心に、デュレーションの長期化を維持する方針です。一方、通貨については、高い金利水準が米ドルを下支えすると見ていることから、新興国通貨への投資は選別的に行う方針です。

当ファンドの運用においては、引き続き市場の変動性に十分留意しながら、流動性が高く、財政を含む長期ファンダメンタルズが健全な国の中で、割安と判断する債券への投資を継続する方針です。

## 3 お知らせ

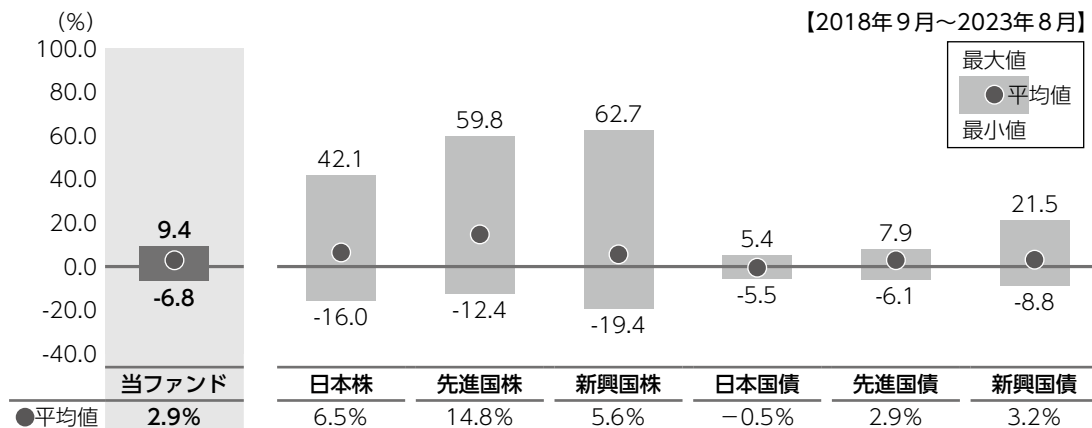
### 約款変更について

該当事項はございません。

## 4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限(設定日：2006年9月20日)
運用方針	投資信託証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。
	<b>G I M世界投資適格債券ファンドF (適格機関投資家専用)</b> G I M世界投資適格債券マザーファンド(適格機関投資家専用)を通じて、世界各国の国債、政府機関債、国際機関債等に投資します。ただし、日本に所在する発行体の発行するものは除きます。
	<b>G I M新興国現地通貨ソブリン・ファンドF (適格機関投資家専用)</b> G I M新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド(適格機関投資家専用)を通じて、新興国の政府または政府機関の発行する債券に投資します。
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 海外の様々な債券に投資し、安定的な収益確保を目指します。</li> <li>■ 毎月分配に加えて、3ヵ月毎に売買益等からの分配を行うことを目指します。</li> <li>■ 原則として、対円での為替ヘッジは行いません。</li> </ul>
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外貨建資産への直接投資は行いません。</li> </ul>
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 毎月12日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。</li> <li>■ 分配対象額の範囲は、経費控除後の、繰越分を含めた利子、配当収益と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。</li> <li>■ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

<b>日本株</b>	<b>TOPIX (東証株価指数、配当込み)</b> 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
<b>先進国株</b>	<b>MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
<b>新興国株</b>	<b>MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
<b>日本国債</b>	<b>NOMURA-BPI (国債)</b> 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
<b>先進国債</b>	<b>FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)</b> FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
<b>新興国債</b>	<b>JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)</b> J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

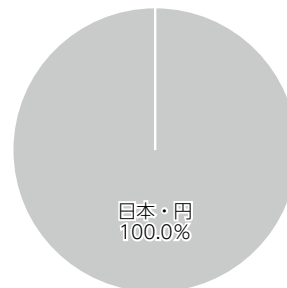
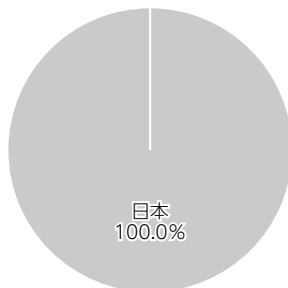
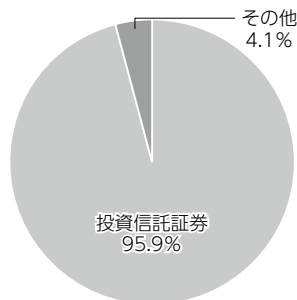
### 当ファンドの組入資産の内容(2023年9月12日)

#### 組入れファンド等

銘柄名	組入比率
G I M世界投資適格債券ファンドF (適格機関投資家専用)	68.0%
G I M新興国現地通貨ソブリン・ファンドF (適格機関投資家専用)	27.8%
コールローン等、その他	4.1%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

#### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

#### 純資産等

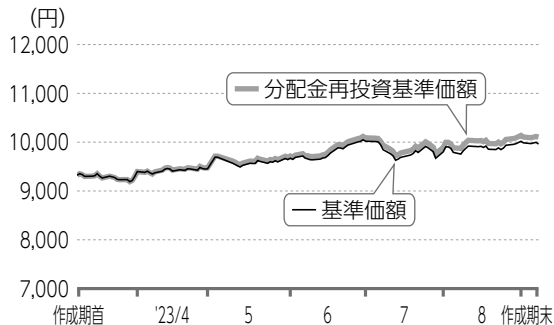
項目		第199期末	第200期末	第201期末	第202期末	第203期末	第204期末
		2023年4月12日	2023年5月12日	2023年6月12日	2023年7月12日	2023年8月14日	2023年9月12日
純資産総額	(円)	9,229,354,074	9,291,497,661	9,373,051,158	9,307,561,825	9,539,768,142	9,477,309,206
受益権総口数	(口)	13,233,557,482	13,218,010,406	13,117,703,434	13,028,650,140	12,981,359,490	12,933,850,194
1万円当たり基準価額(円)		6,974	7,029	7,145	7,144	7,349	7,328

※当作成期における、追加設定元本額は98,635,244円、解約元本額は441,254,807円です。

組入上位ファンドの概要

G I M世界投資適格債券ファンドF (適格機関投資家専用) (2023年3月8日から2023年9月7日まで)

基準価額の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
信託報酬	(投信会社)	24	(22)
	(販売会社)		(0)
	(受託会社)		(2)
その他費用	(保管費用)	4	(3)
	(監査費用)		(1)
	(その他)		(0)
合計		28	

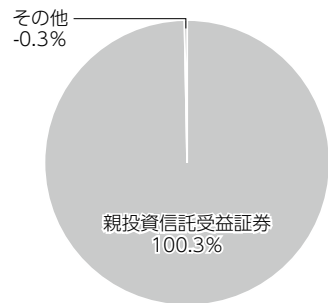
組入れファンド

(基準日：2023年9月7日)

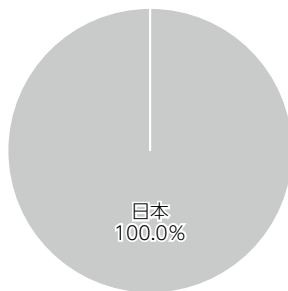
銘柄名	組入比率
G I M世界投資適格債券マザーファンド (適格機関投資家専用)	100.3%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

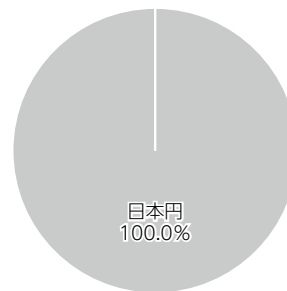
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(純資産総額比)



通貨別配分(純資産総額比)



※資産別配分のその他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です。

※国別配分は発行国を表示しています。

※基準日は2023年9月7日現在です。

(GIM世界投資適格債券マザーファンド(適格機関投資家専用)(2022年9月13日から2023年3月10日まで))

### 基準価額の推移



### 1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
その他費用	(保管費用)	5	(5)
	(その他)		(0)
合計		5	

### 組入上位銘柄

(基準日:2023年3月10日)

	銘柄名	業種/種別等	通貨名称	国(地域)	投資比率
1	FNCL POOL NO MA4579	特殊債券	米ドル	アメリカ	4.7%
2	UK GOVT 3.25% JAN33	国債証券	英ポンド	イギリス	3.4%
3	ITALY BTP 2.5% DEC24 10Y	国債証券	ユーロ	イタリア	3.1%
4	FNCL POOL NO FS1408	特殊債券	米ドル	アメリカ	2.4%
5	US T-BOND 2.875% MAY52	国債証券	米ドル	アメリカ	2.1%
6	SPAIN GOVT 2.55% OCT32	国債証券	ユーロ	スペイン	1.8%
7	US T-NOTE 3.5% FEB33	国債証券	米ドル	アメリカ	1.7%
8	US T-BOND 1.75% AUG41	国債証券	米ドル	アメリカ	1.7%
9	GERMANY BUND 2.3% FEB33	国債証券	ユーロ	ドイツ	1.6%
10	US T-NOTE 2.75% AUG32	国債証券	米ドル	アメリカ	1.5%
	全銘柄数			174銘柄	

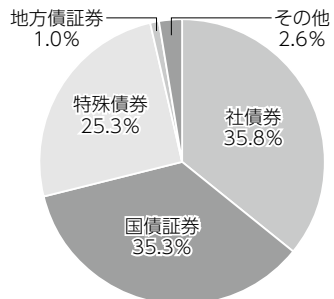
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※国(地域)は発行国を表示しています。

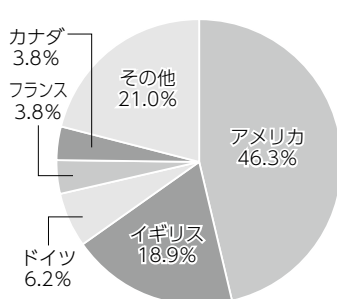
※全銘柄の情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。



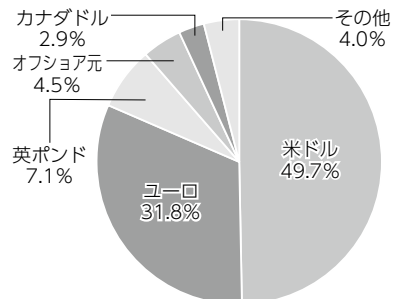
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(純資産総額比)



通貨別配分(純資産総額比)



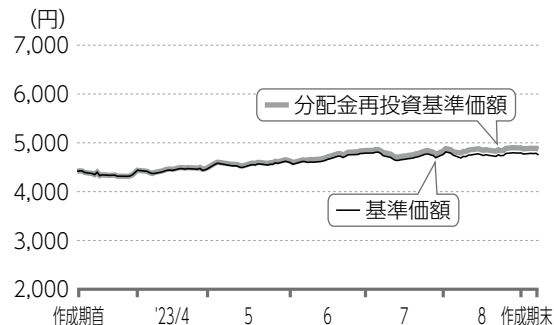
※その他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です。

※国別配分は発行国を表示しています。

※基準日は2023年3月10日現在です。

G I M新興国現地通貨ソブリン・ファンド F (適格機関投資家専用) (2023年3月8日から2023年9月7日まで)

基準価額の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
信託報酬	(投信会社)	19	(18)
	(販売会社)		(0)
	(受託会社)		(1)
売買委託手数料	(先物・オプション)	0	(0)
その他費用	(保管費用)	4	(3)
	(監査費用)		(1)
	(その他)		(1)
合計		23	

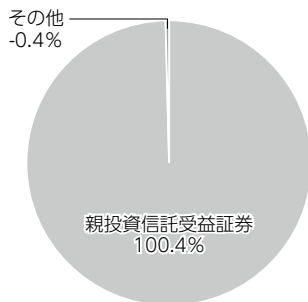
組入れファンド

(基準日：2023年9月7日)

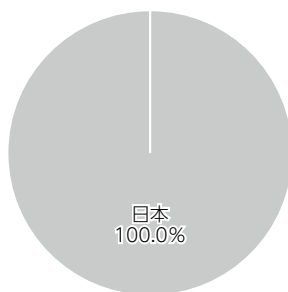
銘柄名	組入比率
G I M新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド (適格機関投資家専用)	100.4%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

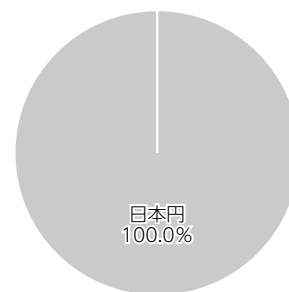
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(純資産総額比)



通貨別配分(純資産総額比)



※資産別配分のその他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です。

※国別配分は発行国を表示しています。

※基準日は2023年9月7日現在です。

(GIM新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド(適格機関投資家専用)(2022年9月13日から2023年3月10日まで))

### 基準価額の推移



### 1万口当たりの費用明細

(単位:円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(先物・オプション)	0	(0)
その他費用	(保管費用)	12	(12)
	(その他)		(0)
合計		12	

### 組入上位銘柄

(基準日:2023年3月10日)

	銘柄名	業種/種別等	通貨名称	国(地域)	投資比率
1	CHINA GOVT2.85%JUN27INBK	国債証券	オフショア元	中国	7.9%
2	CHINA GOVT2.68%MAY30INBK	国債証券	オフショア元	中国	7.7%
3	CHINA GOVT3.27%NOV30INBK	国債証券	オフショア元	中国	7.0%
4	BRAZIL 10% JAN27 NTNF	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	4.3%
5	CHINA GOVT3.02%OCT25INBK	国債証券	オフショア元	中国	3.9%
6	CHINA GOVT3.81%SEP50INBK	国債証券	オフショア元	中国	3.6%
7	MEXICO GOVT 5.75% MAR26	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	3.4%
8	CHINA DEV BK 3.23% 2003	特殊債券	オフショア元	中国	3.3%
9	S.AFRICA10.5% DEC26 R186	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	2.7%
10	CHINA DEV BK 3.07% 2005	特殊債券	オフショア元	中国	2.5%
	全銘柄数			79銘柄	

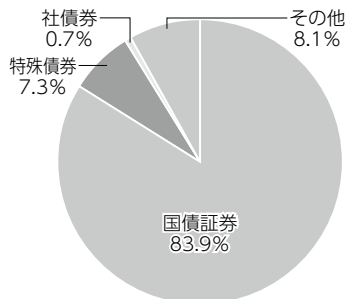
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※国(地域)は発行国を表示しています。

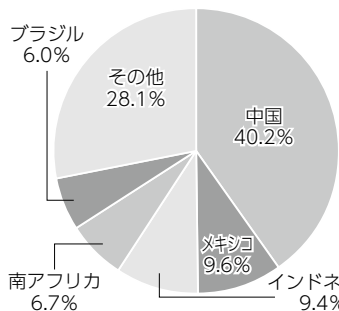
※先物取引は上記の対象としておりません。

※全銘柄の情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

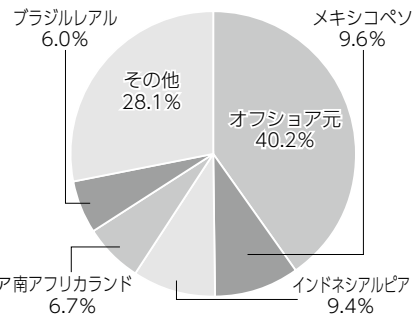
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(純資産総額比)



通貨別配分(純資産総額比)



※その他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です。

※国別配分は発行国を表示しています。

※基準日は2023年3月10日現在です。